



All-Earth

オールアース®生活
はじめませんか？

自然素材にこだわった住まいをお考えの皆様へ

REGINA

〒272-0021 千葉県市川市八幡 3-8-19
TEL 047-325-7739 FAX 047-324-1500

 All-Earth パートナー



REGINA

大切な人の健康を守るために

わたしたちは、文明の恩恵を受けて
利便性と機能性に満ちた環境を手に入れました。


電気製品が普及し、私たちの生活はとても便利になりました。
一方で、電気使用量は過去五〇年間で約一〇倍という急激な増加をし、
電気の副作用である電磁波の影響も懸念しなければならぬ
環境もつくり上げてしまいました。

電磁波のみならず、私たちの生活のまわりには、便利さや美しさと引き換えに、
「本来あるべき」姿を無くしてしまったものが数多くあります。
私たちが自らの健康をうまく守れなくなつたのも、
私たちの身体が同様に「本来あるべき」姿ではなくなっているからです。

生活の水準を変えることなく、
私たちの生活を「本来あるべき」姿に戻していくこと。
正しい知識と、少しの勇気があれば、それは実現可能です。

「本来あるべき」姿を、もう一度、新しい方法で取り戻してみませんか？
レジナは、みなさまの最も身近な健康サポーターでありたいと考えています。




オールアース (工法): 株式会社レジナが開発した電磁波の影響を最小限に抑える特許工法の名称。この工法は「床や壁に伝搬している電磁波を、身体に近づけないような工夫を行い、アースという大地の力を利用して家の外に逃がす」工法。床や壁との間にオールアース専用シート「有機導電性スパンボンド」を入れ、電磁波の発生原因である屋内配線からの電磁波などを取り除きます。(特許 第 4972713 号)

～大地の上で暮らす～

オールアース生活 はじめました。

こぼれし ちかえ
作. 小林 貴恵

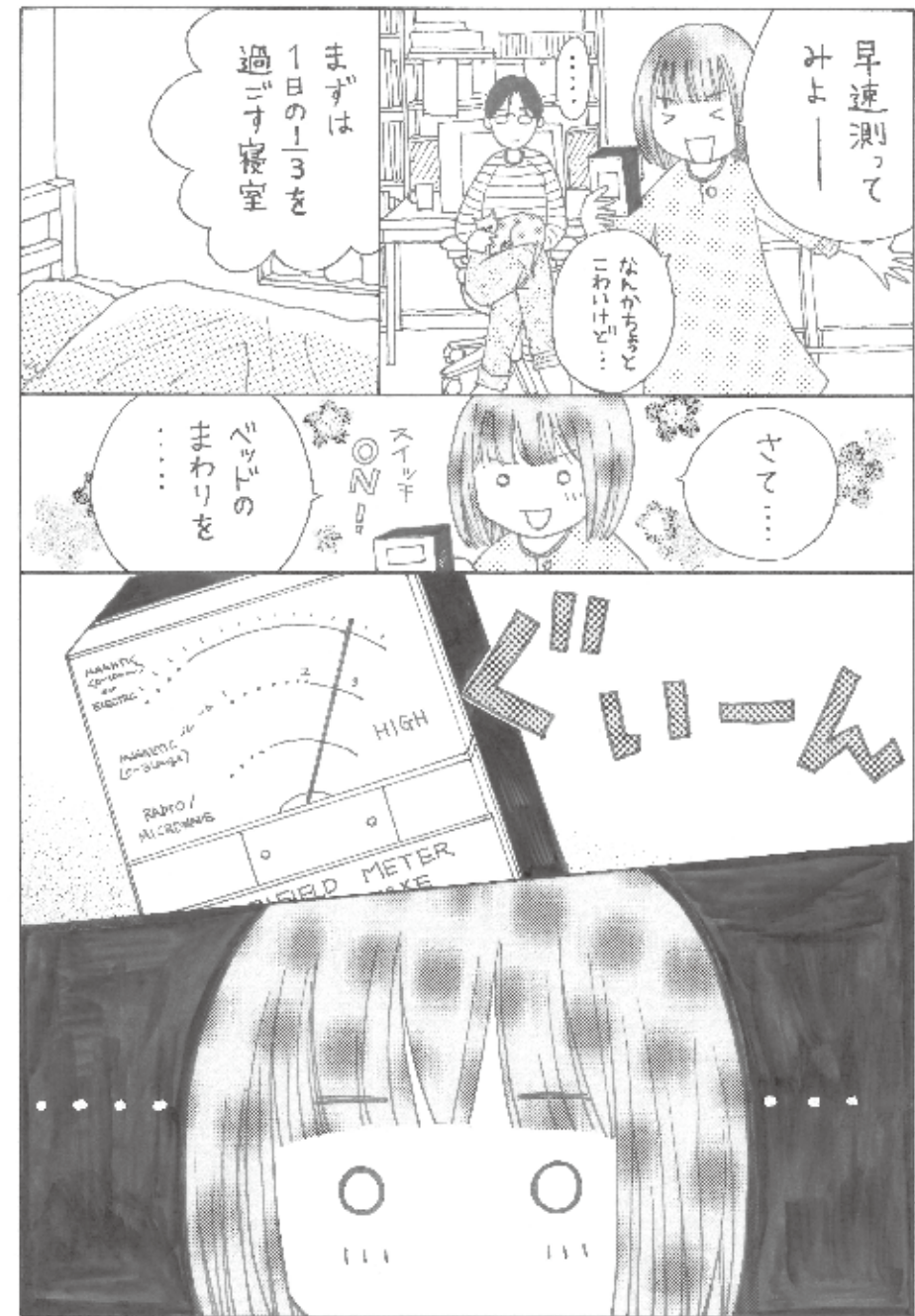






エルマグリーン：株式会社レジナが開発した日本初の簡易電磁波防止器。特許取得済（第497213号）
2014年9月に最新型の「プラグインアース®（エルマグリーンII）」にモデルチェンジ。
発売開始後、半年間で2000台の納入実績をもつ人気商品となる。
なお、プラグインアース®が対象とする電磁波は、極低周波電磁波（5Hz～2kHz）の
電場（交番電場）です。

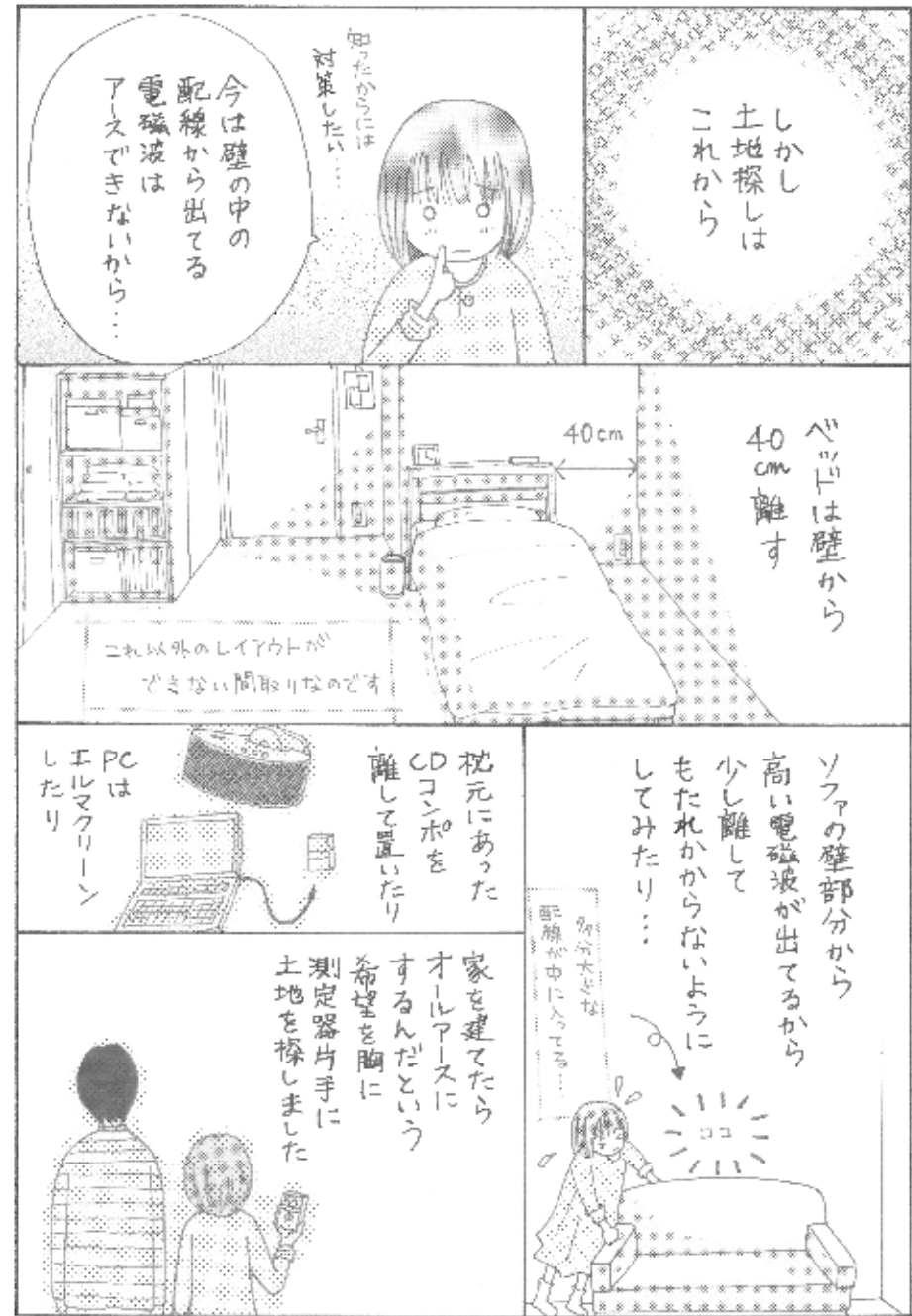






電磁波対策の基準：一般社団法人日本電磁波協会（通称 EMFA）では、同協会が電磁波対策の対象となる極低周波電磁波（5Hz～2kHz）に対する独自の安全基準「EMFA セーフティガイドライン」を策定し、国内での電磁波対策の指針としています。これは、日本の住環境の特徴（木造、狭小、屋内配線が多いなど）を考慮し、電磁波対策先進国のスウェーデンおよびドイツの基準を参考としながら、日本の現状にあった独自の電磁波対策基準として公表しているものです。レジナも同基準をオールアース®工法に採用しています。







電磁波測定士：一般社団法人日本電磁波協会（通称 EMFA）が発行する民間資格。電磁波対策の専門知識と解決のためのコンサルティング技能を併せ持つ者に付与される資格で、2級・1級・インストラクターの3つのクラスから構成されている。1級以上の上級資格者は、一般住宅・オフィスの電磁波測定 / 対策提案、オールアース住宅施工現場での電磁波対策有効性の検査測定などの業務を担っている。平成 27 年 6 月現在、EMFA には国内外に 850 人を超える電磁波測定士が登録され、日々電磁波対策の普及活動を行っている。





屋内配線： 建物の壁や床などの内側に設置されている電気配線。家内各所のコンセントや照明に電気を供給する。仕上工事で壁などに埋込まれ、見えなくなってしまう。また、一般的な住宅建築では正確な配線図を作成しないことが多く、一旦建物が完成してしまつと、誰も正確な設置位置や配線量がわからなくなる。日本の家庭の電気使用量は50年前の10倍^{*1}にも増加した。住宅も電化した結果、最近施工の住宅1軒あたりの屋内配線は30年前の住宅の約6倍^{*2}にも増加している。^{*1}電気事業連合会 INFOBASE(2012) ^{*2}レジナ調査 (2004)










All-Earth

皆さんは、何のために家を建てますか？

住まいの電磁波対策を推進している工務店の方々と、月1回のミーティングで、ブレインストーミングを行っています。その中で、営業部と工務部そして設計部のそれぞれの方々と「住まいの電磁波対策技術であるオールアース」についてお客様の反応や評価をお聞きしていると、お客様への提案の仕方に大きな差があることが分かってきました。



一般的なお客様の潜在意識の中には、「電磁波への対策」というのは含まれていません。しかし、この工務店では会社の方針として、電磁波対策をすべてのお客様に提案するようになっていきました。いきなり、電磁波対策の話をして、お客様は「自分が聞きたいこととは違う！」と感じて、受注に繋がるどころか、お客様は帰ってしまうかもしれません。「お客様がまず何を求めているか、お越しになられたのか」ということについて把握することが最初の作業ですから、「どんな住まいを希望しているか」というウォンツを正確につかむこと。これは、どんな工務店さんでも変わらないことだと思います。

そのウォンツは「木の香りに包まれて、みんなが仲良く暮らせる住まい」とか「いつも自然とみんなが集まるようなリビングをすべてのお部屋から見えるようにしたい」など、抽象的だったり、具体的だったり、様々なプランが飛び出していきます。その内容を満たすことで、お客様の満足度は向上するかもしれませんが、新しい価値を知ること、もっと高い期待値につながるはずです。

この新しい価値が「住まいの電磁波対策」なんです。提案する側がこの価値を理解して、納得して、確信していることが大前提になりますが、お客様は「電気と電磁波」や「住まいと電磁波」については、ご存知ないことがほとんどです。だからこそ、電磁波対策のことを知ること、お客様の価値観が変わり、新しい期待と信頼を寄せていただけるかもしれません。お客様の中で眠っているウォンツを引き出し、新しい価値を提案できるか、ここに大きな差が生まれると思います。

「私たちは、見えないからと言って電磁波対策を怠る住まいを健康的な住まいとは呼びません。」という明確なスタンスを表現できるスタッフさんがおられる工務店さんでは、お客様の評価は非常に高く、「知らないまま建築が進んでいたら後悔したかもしれない」という声はたくさんお聞きます。

電磁波対策を導入するかしないかはお客様の選択です。

しかし、お客様の住まいをより安全性が高く、ずっと楽しく暮らせる要素を提案することは、建てる側の責任です。ですから、私は遠慮せずにこう言います。

「これからずっと、電気を有り難く使わせていただくためには、必要不可欠な対策なんです。誰かが基準をつくるのを待っているのはダメなんです。

基準というのは、良くない結果が生じて問題視されてから初めて生まれるものですからね。」と。

住まいは、今後もまだまだ進化します。

だからこそ、私たちは「伝えていく」という使命を持って、この事業を全うしていきたいと思っています。

平成二十七年向夏

株式会社レジナ 代表取締役 土田 直樹



大地に暮らす
an Earthing-life with you.

発行日 2015年(平成27年)6月1日
第2刷発行
企画制作 株式会社 REGINA
発行人 土田直樹
マンガ 小林貴恵
発行所 株式会社 REGINA
〒272-0021
千葉県市川市八幡3-8-19
TEL 047-325-7739
www.regina-life.com